

# 地域経営型包括支援クラウドモデル開発実証事業について

## 1. 国における本事業の目的及び概要について

「地域経営型包括支援クラウドモデル開発実証」事業は、総務省において、住民サービスの向上や業務効率化を図るため、自治体クラウドの発展的な取り組みとして、公共部門のみならず民間事業者や住民との連携が必須となる行政分野を対象に、様々な主体が活用できる新たなシステムインフラを整備することを目的としている。また本事業は、来年度以降の国の成長戦略にも位置づけられている「公共クラウド」の構築を推進する上での、先駆的な事業として実施されるものである。本年度の事業は、全国より選出された6団体が、健康分野、介護分野、災害分野、観光分野などにおいて市民、行政、事業所が相互に必要な情報を共有・管理できる情報基盤の構築実証を直接委託方式により実施するものです。

実証方法として、全国的に使用できる連携基盤プラットフォームを開発する団体(全部事業実施団体)と一部の業務等システムの開発・クラウド化を担う団体(一部事業実施団体)に区分して実施されている。

## 2. 笠間市における本事業に取り組む背景と目的について

人口減少、高齢化が進む中で、地域資源を最大限に活用し、将来に向けて希望と成長を感じる新たなモデルとなるまちづくりを進めていくことが求められている。

その様な状況において、平成24年2月に「健康都市かさま宣言」を行い、「生涯にわたって健やかに暮らす」という広い意味での「健康」をテーマとして、保健・医療、福祉、産業、教育、環境など様々な分野の活動の推進と、それらの連携による相乗効果を得る仕組みを構築する「健康な都市づくり」を笠間市総合計画(平成19年度～平成28年度)及び健康づくり計画(平成24年度～平成33年度)を中心としながら、各分野別の計画でも相互に補完しながら推進している。

今回それらに加えて、「人の健康づくり」の分野である予防・医療・介護の連携する基盤整備を行うことにより、「健康都市づくり」を推進し「定住化・地域活性化」に繋げることを本事業の目的としている。

## 3. 事業経過について

平成25年 3月	全部事業実施団体として選出
平成25年 5月	第1回地域経営型包括支援クラウドモデル開発実証事業協議会 開催
平成25年 7月	委託契約締結
平成25年 9月	連携基盤プラットフォームにセキュリティ向上について追加実証要請
平成25年12月	連携基盤プラットフォームにAPI機能について追加実証要請

## 4. 連携基盤プラットフォームの構成について (資料1)

民間事業者等や行政が保有する情報を安全に連携・共有するためのプラットフォームシステムを開発し、一部事業実施団体アプリケーション側との連携やデータの二次的な利活用などの環境を実現する。

当初、連携基盤プラットフォームには、「接続インタフェース機能」、「監査ログ機能」、「連携データベース機能」、「利用者認証・権限管理機能」、「共通情報抽出機能」を備えたシステムとして開発を開始したが、総務省より9月にセキュリティ向上のため、「新たな接続インタフェースの機能」「利用者認証機能」「ログ管理機能」を、12月にオープンデータに対応する公共クラウドを見据えた「API機能」の追加実証要請があり、構築をしている。

## 5. 笠間市介護健診ネットワークの構成について (資料2-1 資料2-2)

笠間市、居宅介護支援事業者、介護サービス事業者等、医療機関、薬局との間での要介護者や国保被保険者の介護・健診情報の連携を、個人情報保護に配慮した形で、連携基盤プラットフォームの仕組みを介して活用する「介護・健診ネットワーク」を構築する。

### ①介護部門連携

笠間市、居宅介護支援事業者及び介護サービス事業者は、それぞれの判断でさまざまな介護ソフトを導入していることから、データフォーマットが標準化されておらず、3者間の帳票の受け渡しは紙帳票で行われており、それらのデータを得るためには、直接、市役所窓口にて閲覧をしたり、FAX などによりやり取りをしていることから、介護サービス情報の連携をおこなう。具体的には、高齢福祉課が保有する介護保険資格情報、要介護認定データ、主治医意見書・介護支援事業所が保有するケアプラン(居宅サービス計画書)、利用票を介護サービス事業者に公開するものです。また、在宅医療に役立てるため介護サービス事業者と医療機関(主治医)の連携を図る。

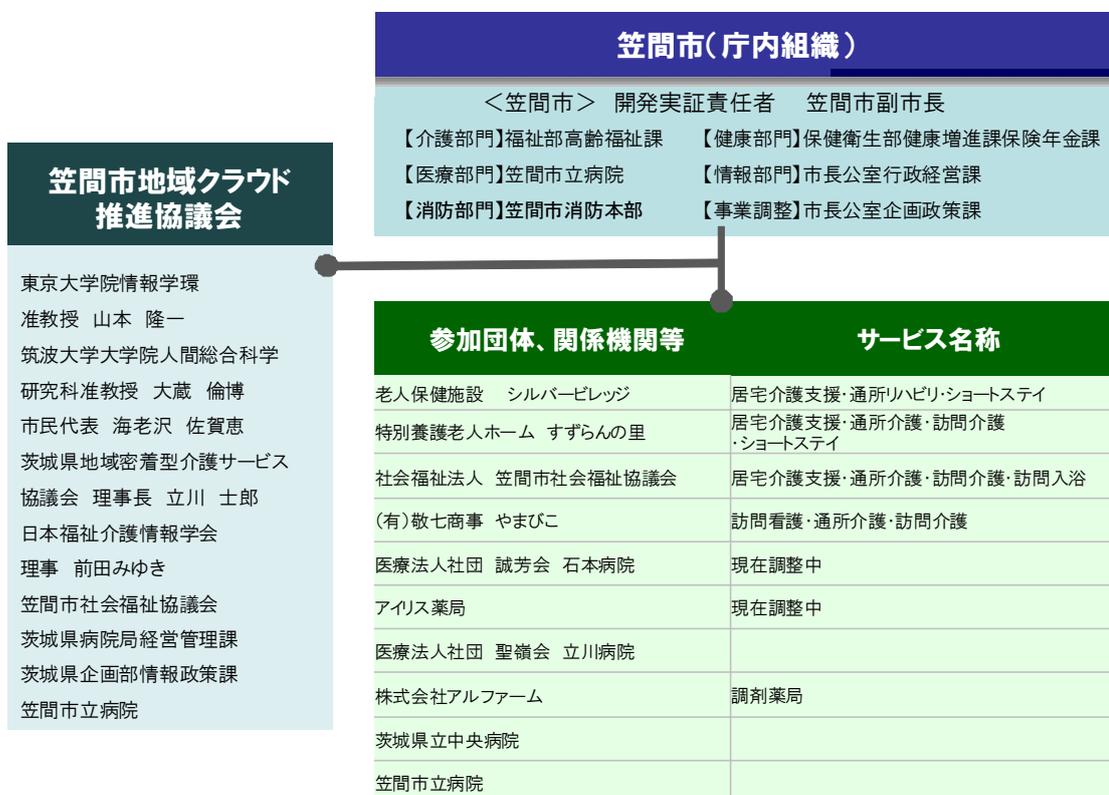
### ②地域包括ケア部門連携

高齢者など支援が必要な方が住みなれた地域で安心して暮らすために、地域住民による協力を得ながら、さまざまなニーズに対応できる支援体制づくりが求められており、関係者間の連携を行い見守り体制の強化を図る。具体的には、地域包括支援センターが保有する見守り支援票、救急情報を関係者(医療関係者・消防署・社会福祉協議会・保健センター)で共有する。将来的には、警察、保健所や民生委員へなど拡大していく。

### ③健診医療部門連携

救急隊と医療機関の間で、円滑な救急医療が求められていることから、健康増進課や保険年金課の保有する健診情報、本事業で新たに収集する処方箋情報や救急隊の現場からの傷病者情報を医療機関が参照することを可能とする。

## 6. 実施機関



## 7. 期待される効果

対象(者)	想定される効果
居宅介護支援事業者	<p>要介護者の要介護認定データを参照することで、よりスピーディで適切なケアプランの作成と業務の効率化につながる。</p> <p>介護サービス計画及び実績データの介護サービス事業者との共有により、複数の事業者とのデータ連携の円滑化や、給付管理および介護請求事務における作業の効率化(紙帳票の仕分け、FAXのやりとり、)が見込まれる。</p>
介護サービス事業者	<p>要介護者の状態に関する連絡、情報共有等がスムーズとなり、適切な介護サービスの提供につながる。</p> <p>複数のケアマネ事業者間とのデータ連携の円滑化や、介護請求事務における作業の効率化が見込まれる。</p>
笠間市 (介護保険者、国保保険者)	<p>高齢者に関する介護サービス計画などのデータを一元把握することで、個別の介護事業者の指導に加え、地域福祉の運営主体として地域の介護事業の設計につなげることができる。</p> <p>健診情報を医療機関と共有することにより、検査項目の削減につながり、医療費や介護費用の削減につながる。</p> <p>健診受診の有無を管理・チェックすることで、虐待等の発見につながる可能性がある。</p>
地域包括支援センター	<p>介護予防事業やインフォーマルサービスなど地域で提供される高齢者へのサービスを一元把握することで、高齢者の状態に応じた適切なサービス利用や更なる介護予防の推進につながる。</p> <p>見守り支援情報を共有することにより、緊急時の早急な対応が可能となる。</p> <p>個別支援に関する迅速な情報共有により、適切な支援を効率的に行うことができる。</p>
消防(救急隊)	<p>救急隊と医療機関の間で、効率的に正確な情報共有が可能になり円滑な救急医療を行うことができる。</p> <p>救急キットの情報を、クラウド上に載せることにより、現場に到着する前に患者の情報を得ることができる。</p>
医療機関	<p>当該医療機関以外の過去の健診結果を把握することで、患者の状態をよりの確に把握し、より正確な診断や指導ができる。</p> <p>医療ソーシャルワーカーが、居宅介護支援事業者や介護サービス事業者と連携することにより、高度な退院援助や退院後の自立した生活への援助が可能となる</p>
要介護者、国保被保険者、家族など	<p>自身あるいは家族が利用している介護サービス等の計画や提供状況・実績をタイムリーに把握できる。</p> <p>要介護者等のニーズに即した「的確なサービス」の選択、利用につながる。</p> <p>健診結果を経年的に管理することで、健康状態の把握ができる。</p> <p>健康意識の向上につながる。</p>

## 8. 安全対策について

### a. ハードウェアおよびシステム上の対策(資料3-1 資料3-2)

生体認証(指静脈)及びマトリックス認証

SSL通信(Secure Sockets Layer)に、独自の暗号化を加え、二重の暗号化通信  
インターネットに繋がる口には、特に高セキュリティ機能を搭載したファイアウォールを設置  
WEBサーバと分離された独立したネットワーク領域に介護健診クラウドサーバを設置  
住民情報システムをクラウド側と直接連携させず、公開管理サーバ経由で情報の連携  
笠間市側データセンタと連携基盤PFは、専用線と同等のIP-VPN線で接続

### b. 運用におけるセキュリティ対策

#### 介護健診ネットワーク運用管理規程(資料4-1)

介護健診ネットワークで取り扱う個人情報を、故意、過失、偶然の区別に関係なく、改ざん、破壊、漏洩から保護することを目的として策定する。規定する主な項目は次のとおり。

- ・管理体制
- ・ID, パスワードの取扱
- ・利用機関の責務
- ・利用機関が行う安全対策
- ・監査

#### 介護健診ネットワークシステム管理規程(資料4-2)

介護健診ネットワーク運用管理規定で定めるシステムの安全な運用及び管理を図ることを目的に策定する。規定する主な項目は次のとおり。

- ・システム管理者の責務としてサーバ, アクセス, データ, 及びネットワークの管理
- ・システム障害発生時の対策
- ・事業責任者による本規定の見直し規定